

事業名

## 地域ぐるみでやさしく・かしこく・たくましい子の育成

目標

教職員・保護者・地域の連携により、思いやりの心、確かな知恵、行動する勇気を育てる

### 1. 取組の視点

本校区では、5校園が一致協力して幼少連携・小中一貫教育を推進しています。5校園連携にとって大切な役割を果たしているのは、PTA組織と地域ボランティアです。おかげで、確かなつながりの中で、5校園がそれぞれ特色を発揮できる活動が行えています。

しかし、学校園支援をいただいているいろいろな活動が、地域全体に周知されているとは言えないのです。これまでの地域ぐるみの子育て活動を一層活発にすること、それとともに広報活動を充実させることで、地域からの支援の輪を広げていかなければならないのです。そこで、中学校区を一貫した学校支援ボランティアの活動にさらに理解・関心を高め、持続・継続が可能な安定した組織の構築をめざし、本事業に取り組むこととしました。

### 2. 取組の概要



松の剪定作業

校園の季節毎に必要な植栽の剪定作業をすすめています。また、校内を実習会場として地域住民向けに「庭木の手入れ勉強会」を開催し、新たにボランティアの人材開発もすすめました。

図書室の毎日の整備活動も各学校園で取組が継続し、快適な読書活動を支援しています。同時に地域内の奈良市立北部図書館を中心として各校園を結ぶネットワーク化がすすめられ読書活動の活性化が図られています。

#### (1) ボランティア活動の充実

各学校園におけるボランティア活動は4年目を迎え定着してきています。環境整備活動では剪定ボランティアチームが各

#### (2) 平城西中学校創立40周年記念事業

創立40周年という節目を地域全体で祝う記念事業を企画しました。午前中には生徒全員と地域ボランティアが中学校を中心に4地域に分かれ地域



地域一斉清掃

一斉清掃を行い、同時に餅つきぜんざいを参加者に振る舞いました。午後は、記念式典を行い「地域コーラス」「池間氏による記念講演」「卒業生によるマリンバ演奏」「生徒会発表」が行われました。充実した一日を送ることが出来ました。

#### (3) 広報誌発行

コーディネーターの企画により年2回広報誌を発行しています。校区の自治会を活用し全戸配布を行い、活動の様子を宣伝し理解を進めています。今年度はカラー版で印刷し、見やすいものとなりました。



### 3. 成果と課題

各校園の代表コーディネーターが集まり連絡調整を図り5校園の活動がより効率的に進めるための体制作りを行ないました。ボランティア活動は各校園で定着し、各学校園にとり必要不可欠なものになりつつあります。さらに地域住民に浸透させるための広報活動を進めること、コーディネーターの後継人材の育成・予算の運用などに課題が残っています。

**事業名** 地域との連携によりかしこく、やさしく、たくましい『生きる力』を備えた人間づくり

**目標** 地域と共に歩む教育を目指し、地域の子どものリーダーとしてたくましく生きる人材の育成に努める。

### 1. 取組の視点

本校は今年で創立40周年を迎えました。昭和47年平城ニュータウン誕生とともに設立されました。近年、地域住民による学校園支援ボランティア活動が定着し、環境美化・図書館支援など学校運営で欠かせないものとなってきました。また、小中一貫教育推進パイロット校として5年目を迎え、保幼小中の教職員・保護者が連携し地域ぐるみで小中一貫教育の研究開発に努めてきました。2小1中の連携型（施設分離）一貫教育のシステムも定着し今後の成果が期待されます。今年度は地域と共に歩む教育を目指し、地域との連携をさらに深め、かしこさ、やさしさ、たくましさ兼ね備えた人間づくりを目指す取組を行いました。

### 2. 取組の概要

取組の目標のキーワードは「地域との連携」。保幼小中の連続した教育実践と地域コーディネーター・ボランティアの支援による豊かな体験活動により「生きる力」を備えた人間づくりを目指し取組を進めました。

具体的な取組として、①40周年記念事業を生徒・教職員・地域・保護者の手で成功させる。②小中一貫教育の実践・交流体験活動・講演会を通して郷土について深く学ぶ。③自らの体験活動をICT機器でまとめ・報告・発表等の活動を充実させる。④英会話科において海外へのビデオレター作成等により発信力の強化に努める。⑤地域ボランティアとともに花いっぱい運動や地域環境美化活動により地域へ貢献する。⑥地域との確かなつながりによる豊かな体験活動を通して、郷土に愛着と誇りを育てる活動に取り組んだ。

#### 【創立40周年記念事業】H24.12.1

中学校教員と地域代表とで構成される企画委員会により、記念事業の企画・運営を行いました。12月1日は、午前中は地域一斉清掃を行い、全校

生徒が4組に分かれ地域ボランティアと共に落ち葉清掃を行い汗を流しました。また、同時に地域の方の指導のもと餅つきを行い、ぜんざいを参加者にふるまいました。午後からの記念式典では、「地域コーラス」「池間氏による記念講演」「卒業生によるマリンバ演奏」「生徒会の東日本大震災についての発表」が行われました。生徒が主役となる体験活動を地域と共に作り上げ心打つ行事となりました。



#### 【マナー講習会】H24.9.25



南都銀行より2人の講師を招き職場体験に向け挨拶の仕方・名刺の受け渡し方などを学習します。

#### 【盲導犬講習会】H25.2.19



NPO 法人日本サービスドッグ協会岩本氏を招き、盲導犬に関わる福祉体験学習を行います。

### 3. 成果と課題

「地域との連携」を重点課題として取組を進めました。一斉清掃で地域ボランティアの方との協働は大きな成果でした。今後、生徒・地域の連携を図りながら奉仕活動の取組を進め、生徒の参加意識を高めていきたいです。また、コミュニケーション力の向上を図る取組を進めます。

**事業名** 地域を知ろう、右京を知ろう！

**目標** 地域への意識を高め、地域活動に積極的に参加する児童を育てる。

1. 取組の視点

24年度は、幼小連携は順調に進み、大きな行事や児童の活動に、自然な形で幼小が協働できるようになりました。特に、本年度は、地域との連携を小学校を中心に幼稚園と一緒に深めていきたいと考えました。秋の「右京音楽会」の幼小合同と「地域を知ろう、右京を知ろうⅡ」の北部会館でのつどいは、幼小の子どもたちのいきいきとした活躍が見られました。また、昨年度以上に学校行事等に地域や保護者の方々の積極的参加を呼びかけることで、学校と地域が一体になれると考えました。それは、「地域で子どもを育てる」意識を高め、子どもたちが地域活動に参加し、学校と保護者、地域で「右京を愛する子ども」を育てることに繋がると信じています。

2. 取組の概要

①プール学習・夏休み水泳指導



○6月に入り、プール学習が始まりました。今年は全学年の児童の水泳指導にYMCAから講師を招聘し、丁寧に教えていた

いただきました。夏休みの水泳教室でも多くの児童が参加し、児童の泳力がかなり向上しました。

②環境整備活動の充実(草刈り、剪定、校内清掃)

○2学期から、校内の環境整備に定期的に活動していただいています。フェンス沿いの木々を間引いてくださったり、大きな木を切ってくださいたりと、暑い中、作業してくださいました。また、子どもと一緒にトイレ掃除をしていただき、児童の規範意識の向上指導に役立っています。



③焼きいも大会

○今年も、おいしいサツマイモをボランティアの方々と一緒に焼きました。親子合わせて約110人の参加で、楽しく集いながらいただきました。

④「地域を知ろう、右京を知ろうⅡ」(北部会館)

○1月19日(土)奈良市北部会館市民文化ホールにおいて地域との交流会を開催しました。児童のダンス・演奏、子どもお能、園児の歌、天理大学の雅楽、一条高校ヒップホップダンス、地域のコーラス等、多彩なジャンルでみんなを楽しませてくれました。一日中、多くの保護者・地域の方々の来場があり、大盛況のうちに終わりました。



**すばらしいヒップホップダンス、聞き惚れた雅楽と舞楽、幼稚園のかわいい歌、6年男女のカッコいいマドリヨシカなど**

3. 成果と課題

○北部会館での地域との交流会は、児童の自尊感情を高め、「夢をもつ子」の育成にも役立ちました。保護者、地域との交流がさらに深まり、「地域で子どもを育てる」意識も高まったようです。○これからも児童の地域への意識を高めるための交流活動を計画し、地域とともに実現していく体制づくりをしていきたいと思ひます。

事業名

# 心を耕し、夢を育む子どもの育成

目 標

“自分がすき、友だちがすき、この町がすき”といえる神功っ子を地域と学校が連携協力して育てていく。

## 1. 取組の視点

子どもたちが、“夢を育む”ために必要な「確かな学力」や“心を耕す”ための教育活動を充実させるとともに、学校環境整備（学校内の施設環境、図書室の環境、図書読み聞かせ等）の充実を図ります。また、平成20年度より小中一貫教育パイロット校として取り組んでいます。小中学校の滑らかな接続とともに、保幼小の連携交流をより豊かにすることにも力をいれてきました。本事業の地域全体で子どもを育てる主旨を共有し、引継ぎ、「開かれた学校づくり」とともに「地域の教育力」を育む取り組みをしていきたいです。

## 2. 取組の概要

### ○学校内環境整備

#### ①校庭の環境整備

木の剪定、花壇の整備、草刈り、校舎内清掃。

#### ②学校図書館整備

通年、図書室の図書整備、環境整備を実施



した。本事業で導入した西中校区共通ソフトの蔵書データ入力作業や、蔵書整理を学校支援ボランティアとPTAが協力して行うことも出来ました。

○学年ごとに絵本の読み聞かせと図書の充実  
ボランティアグループ「おはなしくれよん」活動。

### ○ゲストティーチャーの招聘

世界遺産拓本教室（6年） 森林教育（5年）  
平城ニュータウンの歴史（6年）地域学習（4年）  
世界遺産現地学習（6年）出張源流教室（4年）  
芸術鑑賞《オーケストラの演奏》（全校）  
理科実験教室（5年） なら筆作り（4年）

### ○「神功小学校ふれあい夏まつり」

8月18日本校において、地域、保護者、教職員あわせて700人を超える参加があり、奈良大学、

平城高校など多くの団体の協力を得て、児童の太鼓演奏や舞台発表などの催しがあり、さまざまな屋台が並びました。地域と共に絆を結ぶ、子どもたちに大切な夏休みの思い出に残る活動でした。



## 3. 成果と課題

○校内自然環境、図書室環境、図書読み聞かせ等が充実しました。

○学校ホームページや学校便りなどによる保護者、地域への事業紹介、進捗状況の発信が出来ました。

○児童が地域の方々と多く交流を持ってました。

○学校教職員が地域と共に協働し活動できました。

○学校支援ボランティア募集の必要性を感じます。

○地域コミュニティーの場として継続していきます。



事業名

## 一緒に遊ぼう！きらきら輝く右京っ子

目 標

地域の方と協力して、園児の心がわくわくと弾むような体験の出来る場の設定や環境づくりの工夫をする。

### 1. 取組の視点

少子化、核家族化等社会環境の変化に伴い幼児は人との関わりやワクワクと心が弾むような体験の機会や場が少なくなってきました。

このような状況の中で、子どもたちが生きる力を身につけるためには様々な人との関わりや感動体験、多様な経験を積み重ねることが大切だと考えます。そこで地域の方々の力をいただき、幼児が豊かな体験が出来る場や環境を作っていきたいと考えました。

### 2. 取組の概要

地域の方々と共に活動したり、ふれあったり出来るような場や、環境作りとしての取り組みを進めることにしました。

わらべうた教室ではゲストティーチャーから伝承遊びを教えていただき、毎回、万年青年クラブの方と一緒にわらべうた遊びを楽しみました。



また、地域の方々とならまち、音声館、奈良町からくりおもちゃ館へ園外保育に出かけ、奈良の文化財に触れ、ゆったりとした時間を過ごすことが出来ました。柔道教室では発達段階に沿っているいろいろな技を教えていただきました。正座をしてあいさつから始まり、挨拶で終わる。行儀、礼儀作法、人の話をしっかり聞く態度も身につけています。



おはなし会も幼児は毎回楽しみにして多くの絵本やお話しに親しみ、豊かな心が育ってきています。お楽しみ会には大型絵本やパネルシアターなど工夫を凝らした内容で幼児は大喜びでした。

菜園活動では環境ボランティアの方々に協力していただき、花苗植えや栽培物の世話を教えていただきました。また、収穫祭では地域の方と一緒に収穫の喜びを味わうことが出来ました。

毎年恒例のしめ縄作りは、地域の方をゲストティーチャーに招き、保護者の方々が個性豊かなしめ縄やリース作りを楽しまれ盛會に終わりました。

### 3. 成果と課題

少子化、人との関わりが少ない幼児にとって、地域の方々が幼稚園に足を運んでいただき、一緒に遊んだり様々な活動をしたりすることは、人と関わる楽しさを味わい、豊かな感動体験ができる場にもなります。今後はもっと多くの方とふれあえるような保育内容を工夫していきたいと思えます。また、体を動かす機会が少ない現状から、体力向上に向けた取り組みが必要と考えます。幼児がのびのび体を動かす楽しさを味わえるよう、地域の教育力をいただき取り組みを進めていきたいと思えます。

## 事業名 笑顔でつなごう・わ(輪)・わ(和)・わ(話)・わ(環)

目標 身近な環境や様々な人とかかわり、体験を通して感動を共有し豊かな心を育む。

### 1. 取組の視点

本園は、平城ニュータウンとして開発された閑静な住宅地のなかにあります。他地域から引っ越されてきた方が多く、つながりが強いとはいえません。そのため、子どもたちが心を動く体験を重ね、いろいろな遊びの中で主体的に活動し、心も体もすくすく育つことをめざし、園児と保護者や地域の方々との協働の場やふれあいの場を数多くもちたいと考え取り組んでいます。また、隣接している保幼小とも継続的に連携し学びを共有していきたいと思えます。そのことは、地域で守られ育てられているという思いをもつことにつながります。こうしたかかわりのなかで子どもたちは人とかかわる心地よさや温かさを感じ、優しい気持ちが育まれることを願っています。

### 2. 取組の概要

〔ふれあい菜園、園庭整備活動〕

園内の菜園や花壇、ゴーヤのカーテン、虫のひろばは、園生活に位置づき、地域の方とコミュニケーションをとる機会となっています。子どもたちは、ボランティアの方に教えてもらい季節の時期を逃さず飼育、栽培を経験し、収穫の喜びを味わうことができました。また、刈った草を利用して腐葉土づくりにも取り組んでいます。身近にエコを学んでいます。地域の方々に親しみ深くなり感謝や尊敬の気持ちにつながっています。



〔園児とふれあう交流活動〕

講師を招聘し、様々なふれあい活動を行いました。6月には、ファミリー参観で「みんなでリズム体操」を開催しました。保護者や地域の方、約



150名で元気いっぱい活動しました。11月には、カプラワークショップを行いました。保育園のお友達、地域の方にも参加していただいていた楽しい体験ができました。8月にカプラを購入し、遊んでいましたがワークショップを経験し、扱い方やいろいろな遊び方を教えていただき、造形的な表現活動がより豊かになりました。



「ふれあいコンサート」では保護者や地域のお年寄り等90名余りの参加がありました。演奏を聴いたりみんなで一緒に歌を歌ったりと、感動を共有できました。また、園庭開放時に、ボランティアの「おはなしくれよん」の方々に絵本等の読み聞かせをしていただき、子どもたちはお話しの世界を楽しみ情操が豊かに育まれています。

### 3. 成果と課題

身近な環境や様々な人とふれあうなかで、感謝する心やコミュニケーション能力が養われ、豊かな心を育むことができました。園だより等で取組を知らせたり、園ホームページで広報したりすることで、園教育への関心も高まり、事業の理解につながったと思います。保護者アンケートでも「地域の協力を得て、豊かな心が育まれた」「ふれあい活動で感動を共にすることができた」といった感想をいただきました。これからも引き続き定着させていくとともに、さらに地域の方の参加、関心と呼びかけ高め、子どもたちが地域に関心をもつ機会をつくっていききたいと思えます。